

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

経済産業省 生物化学産業課 殿

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会

バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、事務局（経済産業省 生物化学産業課）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 実施テーマ間での技術の連携及び NEDO において知見のある技術との連携に積極的に取り組んでほしい。
- ・ 未利用資源を活用するということが本事業のポイントにもなっていることから、その価値が見える化するための方法や LCA、標準化の動きについてしっかりと注視し、協調領域として官民連携で取組を進めていくべき。
- ・ LCA 算定のレベルをプロジェクト全体として向上させる必要がある。
- ・ 多様性をイノベーションにつなげる観点で、報告のフォーマットなどに事業体制における女性や外国人比率等設けて状況を把握するようにしてほしい。また、経済安全保障の観点を踏まえて、国外への重要技術流出を防止するための取組についても併せて報告をしてほしい。
- ・ 細胞性食品については、国としての対応方針の明確化の加速が必要。政府でもモメンタムを作してほしい。

以上